

## 編集後記

定年退職して籠りがちとなり、情報の取捨選択が偏って思考が右へ右へと蜻蛉化した、という話を最近よく耳にする。「正月に実家に帰ったら父親がネトウヨ化して」いたという話もある。いま日本は65歳以上の人口が30%近くに達する超・超高齢社会。団塊の世代を中心にこの世代は「戦後民主主義」や「平和主義」の下で人格形成を果たし、思想や歴史認識のメインストリームをなしてきた。ところが、この世代（とくに男）のなし崩しの右傾化がすすみ、日本社会の深部での価値観や規範意識の地殻変動を触発しているという。そういう流れをどう食い止めるのか、政治の潮目をどう変えていくのか、いまそのことがどのときよりも真剣に模索されなければならない。

反動や逆流はグローバルな潮流でもあり、これに抗する多彩な論者が今号も掲載できた。岡野内論文は、現代資本主義の正統性の危機と多国籍企業の犯罪を原理的かつ実践的に検証し、グローバル資本主義の支配の実態と仕組みを明らかにしようとする意欲的な試みである。太田論文は、日本の開発協力が内向きな「国益」追及の傾向を強めていることを明らかにしている。上で述べた「地殻変動」が日本の開発協力を影を落としていると感じさせる。「特集：ベネズエラ問題を考える」は、去る3月10日に開催された「ベネズエラを知るための緊急シンポジウム」の報告者の皆さんに、それぞれの報告内容を踏まえ、その後の展開を踏まえて改めて稿を起こしていただいたものである。シンポの準備から原稿執筆まで関係者の皆さんのこの間のご尽力に感謝申し上げる。

(2019/7/25 文 京 洙)

## アジア・アフリカ研究

2019年 第59巻 第3号 (通巻433号)

2019年7月25日発行 機関購読料：年間15,000円

編集・発行人 文 京 洙

発行所 特定非営利活動法人  
アジア・アフリカ研究所

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-17-10

Tel&Fax: 03 (3946) 1479

E-mail: aaken@bz01.plala.or.jp

URL: <http://www.aaij.or.jp/>

印刷所 三和印刷(株)  
長野県長野市川中島町1822-1

本誌上で各論考の著者がその責任において述べた意見は、特定非営利活動法人（NPO法人）アジア・アフリカ研究所としての見解を表すものではありません。

The articles in *Quarterly Bulletin of Third World Studies* do not represent the views of The NPO Corporation Afro-Asian Institute of Japan (AAIJ). Responsibility for opinions expressed in them rests with their authors.